

北海道肉牛研究会 ニュース

No.23 2018.9.25

北海道肉牛研究会事務局
北海道立総合研究機構畜産試験場
肉牛グループ・技術支援グループ
〒081-0038
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地1
Tel :0156-64-0606 FAX:0156-64-3212

平成30年北海道胆振東部地震の影響

9月6日（木）未明に胆振地方東部を震源とする地震が発生し、土砂崩れ等の被害や引き続き大規模停電により肉牛生産にも大きな影響が出ております。被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

この地震により9月に音更で開催が予定されていましたが第17回北海道総合畜産共進会（肉用牛部門）中止になるなど、多くの行事が中止・延期となりました。しかし、北海道肉牛研究会では毎年10月末に行っている大会については例年通り開催すべく準備を進めております。

農水省「最新農業技術・品種2018」に掲載

農林水産省の「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」に基づき導入が期待される有用な品種・技術のひとつとして、畜産試験場とジェネティクス北海道が共同して取り組んできた「産肉能力のゲノム育種価を活用した黒毛和種の早期選抜法」が掲載されました。これまで以上の和牛改良のスピードアップを図るため、畜産試験場は関係団体と協力し道内の育種組合・改良組合等において若雌牛の選抜等にゲノム育種価を活用する事業を進めております。詳細については畜産試験場までお問い合わせください。

産肉能力のゲノム育種価を活用した黒毛和種の早期選抜法

DNAの情報から生後すぐにも種雄牛および雌牛の産肉能力値を算出し、選抜に活用できる技術

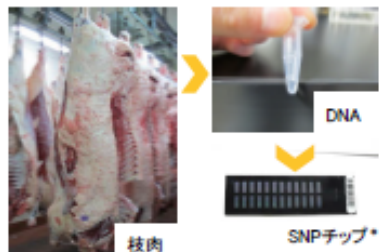
研究開発の背景

- ・黒毛和種は、産肉能力（枝肉重量や脂肪交雑等の肉量・肉質を指す）の高い種雄牛および雌牛から後継牛を残すことで改良を進めるが、能力を知るには産子の枝肉成績を待つ必要があり、約5年かかる。
- ・早期に種雄牛および雌牛の産肉能力を高い精度で予測する技術が強く求められている。

研究成果の内容

早期に精度よく産肉能力値を予測できる選抜技術

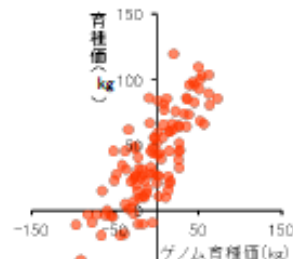
1. DNAデータベースの構築



・一度に数万箇所の変異型を判定できる器具

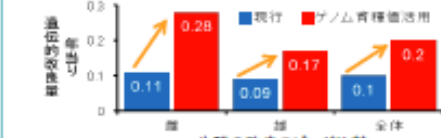
- ・数千頭規模のDNAデータベースを構築
- ・能力値(ゲノム育種価)を算出できる
- ・変異型と枝肉成績との関係式を作成

2. ゲノム育種価の精度



- ・ゲノム育種価は、育種値(実際の能力)との間に高い相関
- ⇒ 精度よく能力予測可能

改良スピードはこれまでの2倍に向上



能力の高い子牛出荷で、購買者からの評価向上



農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究統括官室のコメント
本技術の活用により、世代間隔の短縮が図られ、ゲノム育種と従来の育種値との相関性に留意することで、黒毛和種の改良速度の向上に資することが期待されます。
一方、産肉性だけでなく、繁殖性や飼料利用率など生産生産性に関連する形質に着目した取組の展開が必要と考えられます。

期待される効果

- ・黒毛和種牛群の改良の効率化および和牛ブランド力の向上に貢献。

開発機関:北海道立総合研究機構、(一社)ジェネティクス北海道、予算区分【一般共同研究】

導入をオススメする対象

- ・北海道の黒毛和種種雌牛造成機関
- ・黒毛和種繁殖農家
- ・繁殖肥育一貫農家

第 15 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 開催

11月8日(木)に帯広畜産大学講堂にて「家畜の福祉と牛肉生産」をテーマとした第15回資源循環型肉牛生産シンポジウム2018が開催されます。毎年、環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会および北海道短角牛振興協議会が主催していますが、今回は日本産肉研究会の第22回学術集会との共同開催となっています。牛肉生産の展望について、生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関等の多角的な視点からの意見交換が行われる予定です。

(内容) 13~17時

1. 基調講演 「家畜の福祉と肉牛生産」 (株)グッドテーブルズ 山本謙治 氏
2. 話題提供 「欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置付け」
「アニマルウェルフェアの評価基準」
「有機畜産の理想と現実」
「大自然を家庭の食卓に「ボーンブロス・八雲」について」
「赤身評価の最新情報」

2018年 道内肉牛関連行事予定

北海道枝肉共励会 (乳用雄肥育牛および交雑牛の部)	10月6日(土)	帯広市・畜産公社
第15回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会	10月20日(土)	帯広市・畜産公社
第23回北海道肉牛研究会大会	10月31日(水) -11月1日(木)	北斗市・ 農業振興センター
第8回北海道肉専用種枝肉共励会 (アンガス・日本短角)	11月8日(木)	帯広市・畜産公社
第15回資源循環型肉牛生産シンポジウム2018	11月8日(木)	帯広市・帯広畜産大学
第17回北海道あか牛枝肉共励会	11月16日(金)	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)	12月1日(土)	帯広市・畜産公社

会費納入のお願い!!

2018年度年会費(個人会員2,000円)の納入をお願いします。

2017年度以前の会費を未納の方は至急納入して下さい(同封請求書を参照のこと)。

研究会は会員の皆さんからの会費で運営されていますので、忘れずに納入をお願いします。

*勤務先・住所等が変更になった場合は事務局までお知らせ下さい。

*退会の際には必ず事務局までご連絡下さい。